

1 公立保育所の現状と課題

(1) 保育サービスの状況

本市では、現在市立保育所7か所、民間保育園4か所、認定こども園1か所の合計12か所の保育施設において保育を実施しています。

(表-1) 市立保育所での各種サービス一覧

施設名	定員	所在地	開園時間	特別保育の内容					
				乳児	延長	障がい児	一時預かり	休日	病後児
市立									
飯野保育所	100	下飯野 332-6	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~18:30	○		○	○		
吉野保育所	50	絹 656-2	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~12:30	○		○	○		
佐貫保育所	40	佐貫 143-2	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~12:30	○		○	○		
中央保育所	80	数馬 579	平日 7:30~19:00 土曜 7:30~18:30	○	○	○	○		
竹岡保育所	40	竹岡 403-1	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~12:30	○		○	○		
金谷保育所	40	金谷 2221-1	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~12:30	○		○	○		
峰上保育所	60	上後 305	平日 7:30~18:30 土曜 7:30~12:30	○		○	○		
私立									
富津保育園	150	富津 396-34	平日・土 7:00~20:00 日・休日 8:00~18:00	○	○	○	○	○	○
青堀保育園	120	青木 2-14-6	平日・土 7:00~20:00 日・休日 7:00~18:00	○	○	○	○	○	
和光保育園	90	小久保 2209	平日・土 7:00~19:00	○	○	○			
大貫保育園	60	岩瀬 1112-7	平日 6:00~20:00 土 7:00~20:00 日・休日 7:00~18:00	○	○	○	○	○	
認定こども園 みなと幼稚園	42	湊 404-1	平日・土 7:30~18:30			○	○		

※認定こども園のみなと幼稚園は保育部分のみ記載

【参考】 保育施設・幼稚園の所在地



(2) 定員及び入所児童数の状況

定員の推移は、平成 26 年度までは 1,010 人でした。平成 27 年度に保育士不足から 910 人に引き下げましたが、同年度から認定こども園みなと幼稚園が新制度に移行したことにより 952 人となりました。青堀保育園が平成 31 年度に 50 人、令和 2 年度に 30 人、定員を引き下げたため現在 872 人となっております。

近年の入所児童数は、ほぼ横ばいの状況にありますが、少人数のため 3 歳以上でも異年齢との合同保育を実施している保育所もあります。児童数が少ない施設では、このまま推移した場合、集団で過ごすことで年齢や発達に応じた社会性を獲得するという、保育所の役割を果たすことが難しくなります。

(表-2) 過去 5 年間の児童数推移

(単位：人)

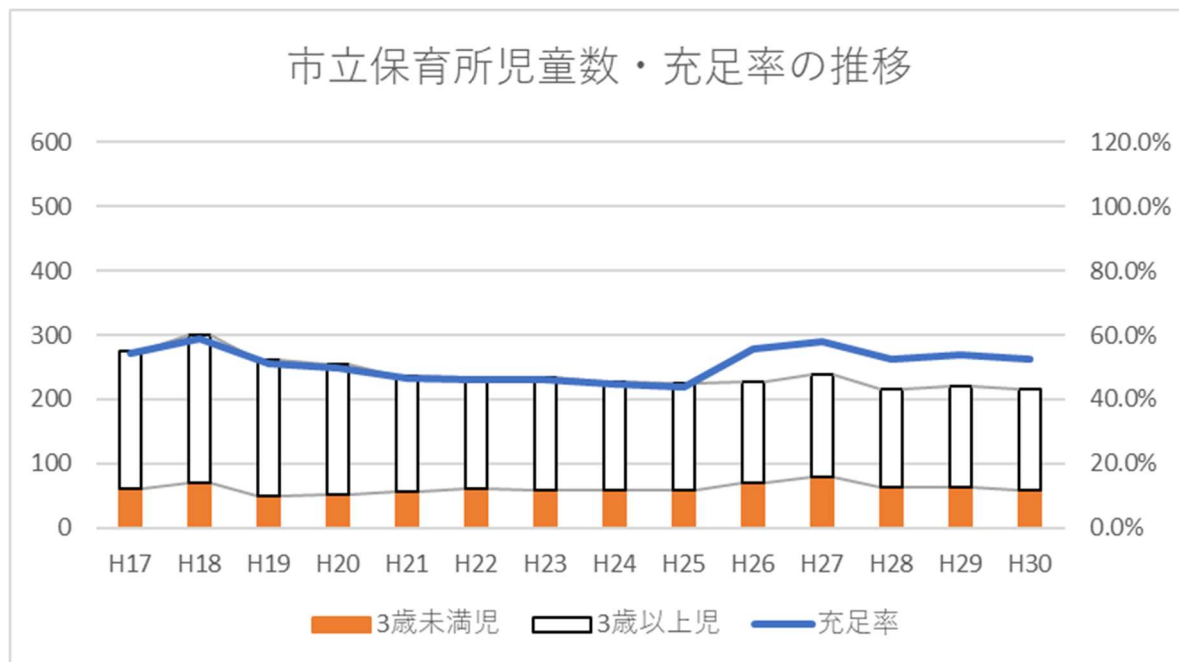
施設名	定員 令和 2 年 4 月	児童数（各年 4 月）					
		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
飯野保育所	100	65	67	66	74	82	92
吉野保育所	50	34	38	39	41	31	28
佐貫保育所	40	11	17	16	17	16	17
中央保育所	80	51	45	36	29	28	23
竹岡保育所	40	17	14	16	14	15	16
金谷保育所	40	17	12	11	15	14	11
峰上保育所	60	33	39	31	30	30	24
富津保育園	150	140	165	157	149	145	139
大貫保育園	60	16	21	32	40	49	48
和光保育園	90	104	96	96	98	106	107
青堀保育園	120	213	195	177	158	128	98
みなと幼稚園	42	17	18	21	32	36	44
合 計	872	718	727	698	697	680	647

※認定こども園のみなと幼稚園は保育部分のみ算入

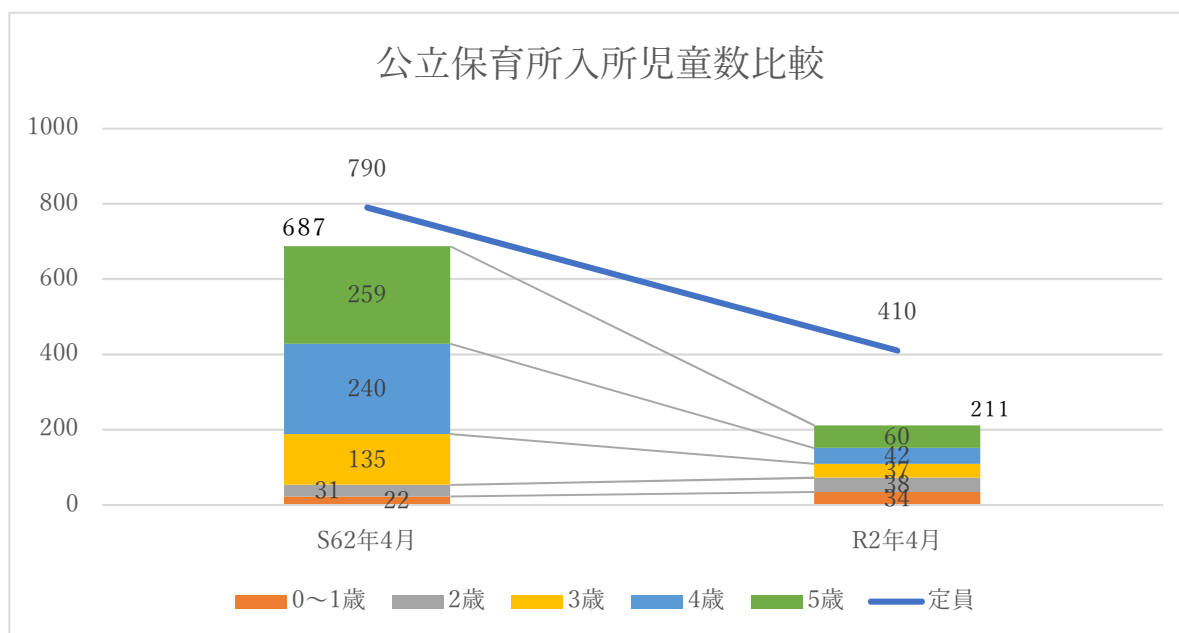
当市では国基準の待機児童はいないものの就労状況の変化に伴って入所児童の低年

齡化が進み、乳幼児の入所率が高まり、結果として希望した時期に希望の保育所に入所できない児童が発生しています。

(グラフ-1) 市立保育所の児童数・充足率の推移



(グラフ-2) 公立保育所入所児童数の比較



(3) 施設の状況

本市の市立7か所の保育所の状況については、昭和50年度から61年度の概ね10年間に集中して建設されました。人口のピークに合わせて建設された施設は、人口減少後の現在は過剰となっています。

また、鉄筋コンクリート造の施設も建築後30年以上経過しており、老朽化が進み、部分的な修繕を行っていますが、今後、10～20年の間に大規模改修や施設の建替えの時期が集中することが予想され、大きな課題となります。

(表-3) 保育所(園)等の施設概要

名称	構造	階数	延べ床面積(m <sup>2</sup> )	新耐震対応	建築年	経過年数	残余年数	更新年	更新費用(千円)
飯野	RC造	1	885.00	○	S60年	35年	15年	R17年	292,050
吉野	RC造	1	465.90	○	S61年	34年	16年	R18年	153,747
佐貫	RC造	1	549.20	○	S56年	39年	11年	R13年	181,236
中央	RC造	2	1,177.00	○	S55年	40年	10年	R12年	388,410
竹岡	RC造	1	519.60	○	S59年	36年	14年	R16年	171,468
金谷	木造	1	390.65	診断済	S50年	45年		H9年	128,915
峰上	RC造	1	541.00	○	S61年	34年	16年	R18年	178,530

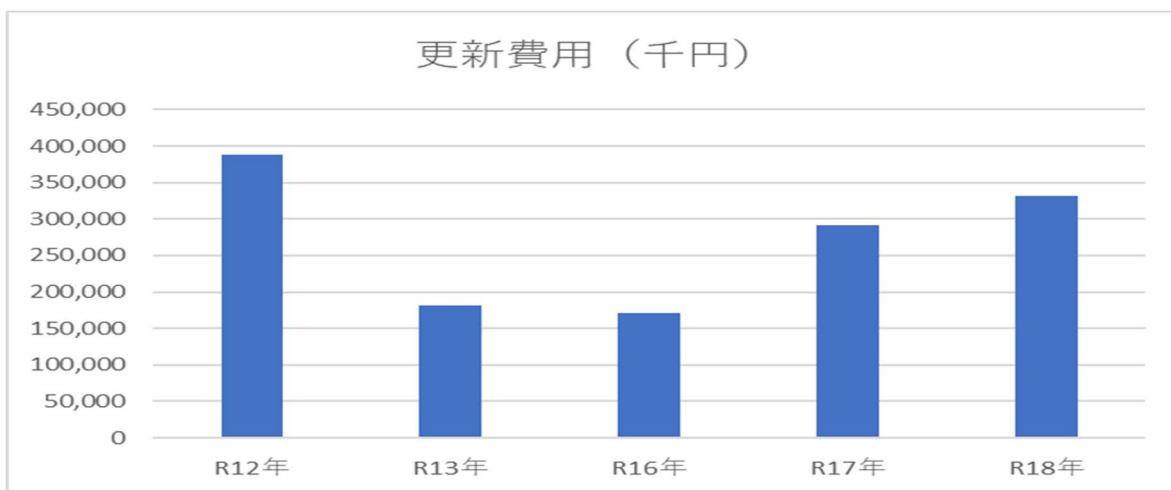
(1) 経過年数は令和2年現在

(2) 耐用年数は、鉄骨鉄筋RC造では50年、木造では22年 金谷保育所は更新年度を既に経過

(3) 更新費用は「富津市公共施設等総合管理計画」の数値を使用

※各保育所の施設カルテは別冊を参照

(グラフ-3) 今後の年度別更新費用



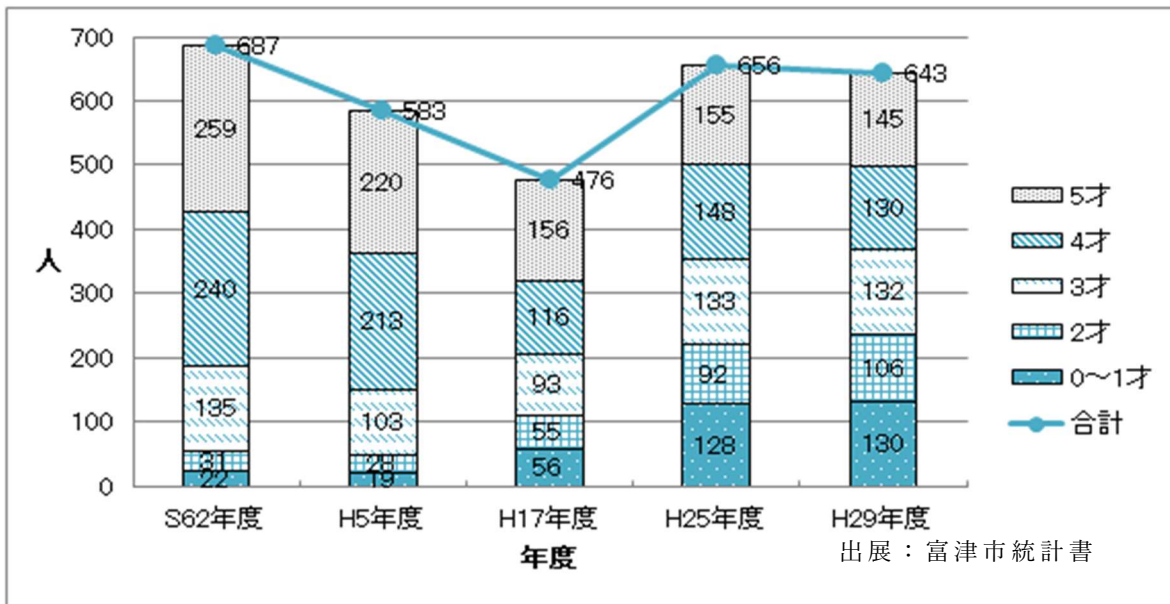
## 2 人口推計及び量の見込み

### (1) 児童数の推移

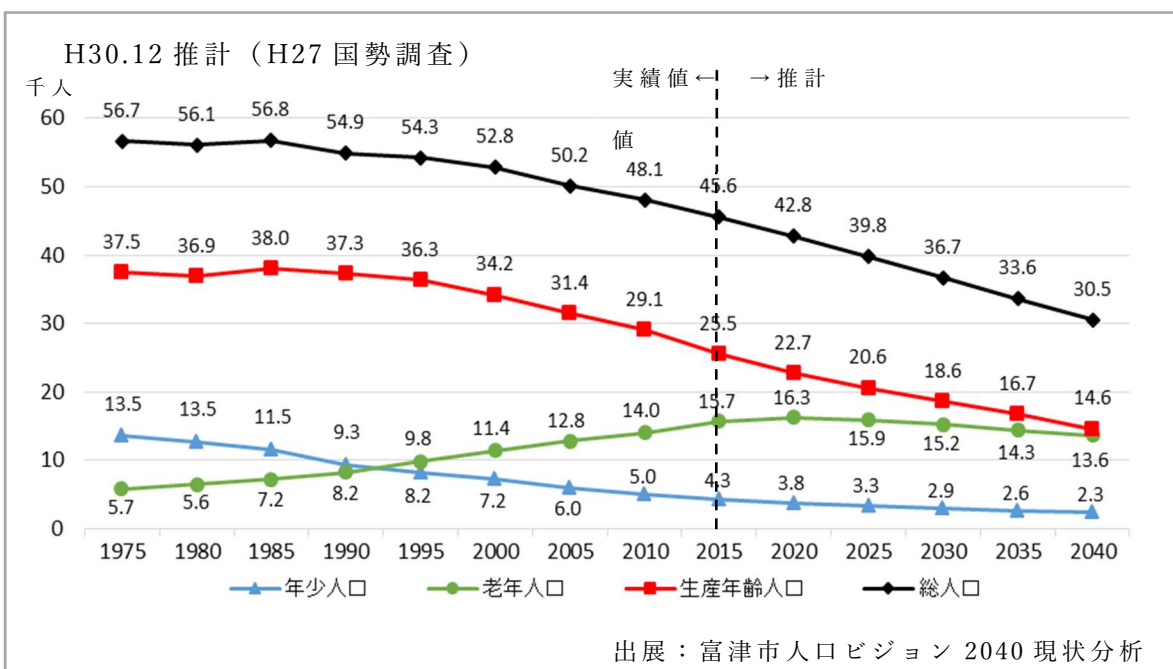
市の人口は毎年400人以上が減少しており、「富津市人口ビジョン2040」では2040年（令和22年）には3万人強まで人口が減る見込みであり、5歳以下の保育対象児についても減少の傾向にあります。

出生数の減少傾向に歯止めがかからず、令和元年はより減少幅が拡大しました。

(グラフ-4) 児童数の推移

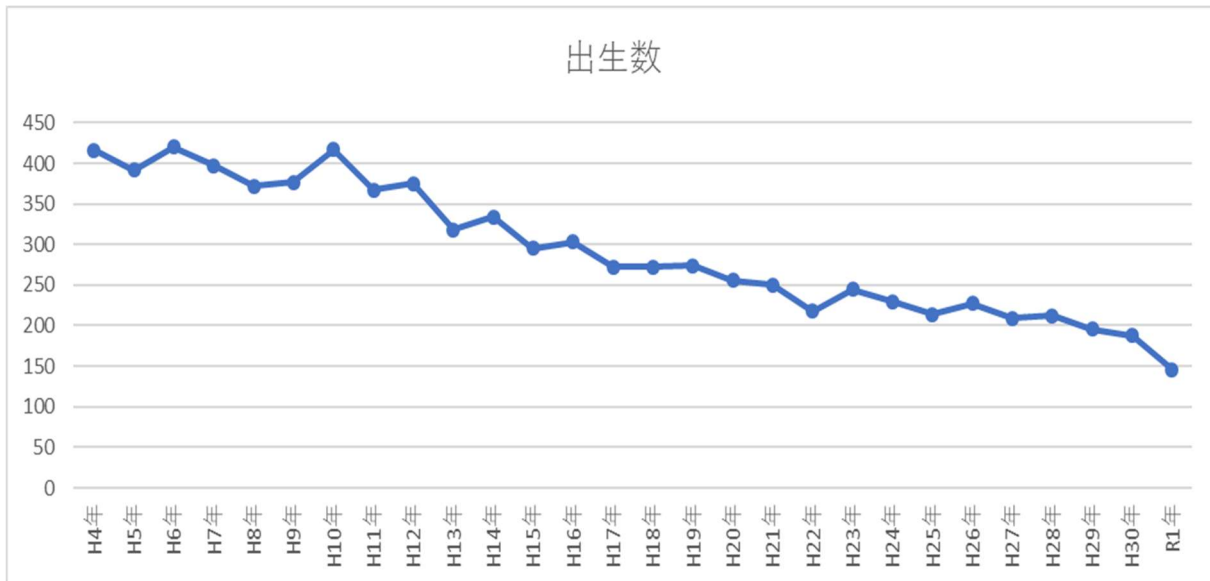


(グラフ-5) 将来人口の見通し





(グラフ-6) 出生数の推移

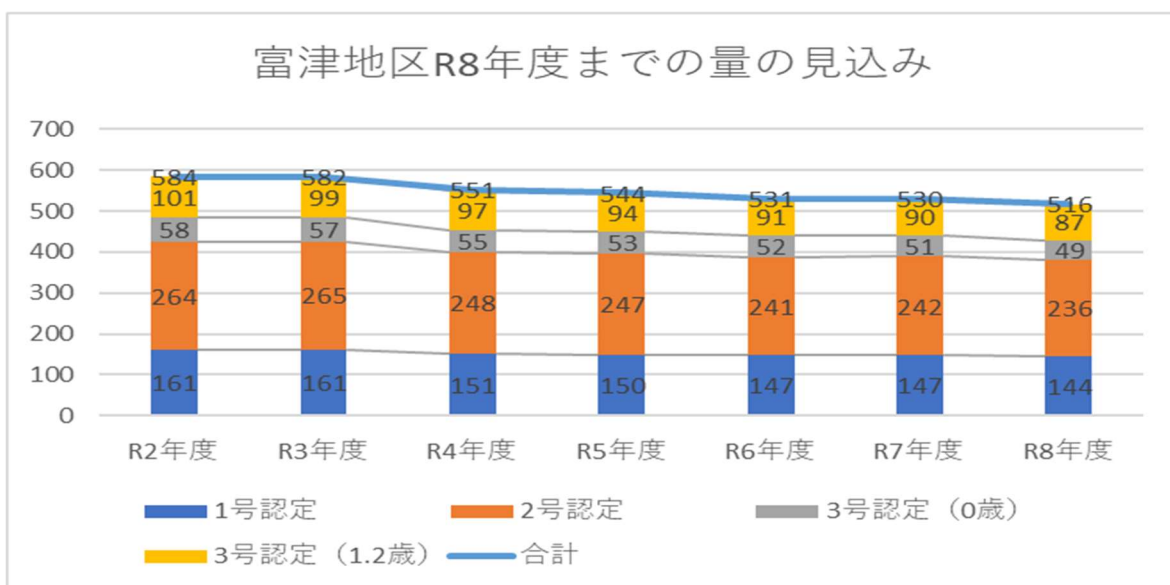


(2) 量の見込み

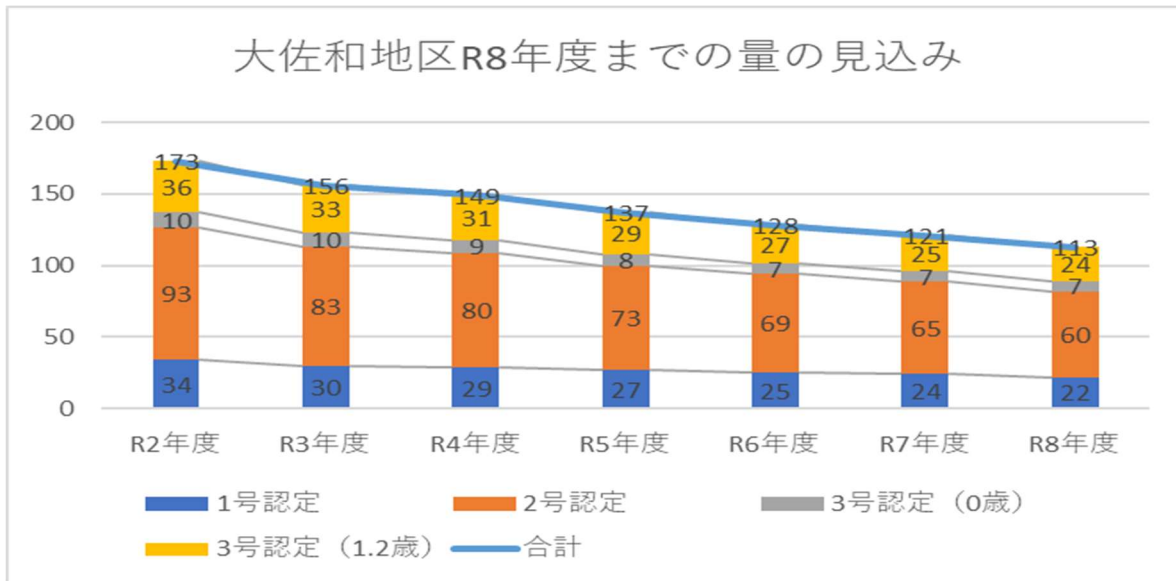
平成30年度に実施した「保育のニーズ量見込み調査」をもとに、各地区の令和8年度までの量の見込みを推計しました。

各地区とも児童数の減少に歯止めがかからず、特に大佐和地区のニーズ量が著しい減少が見込まれています。

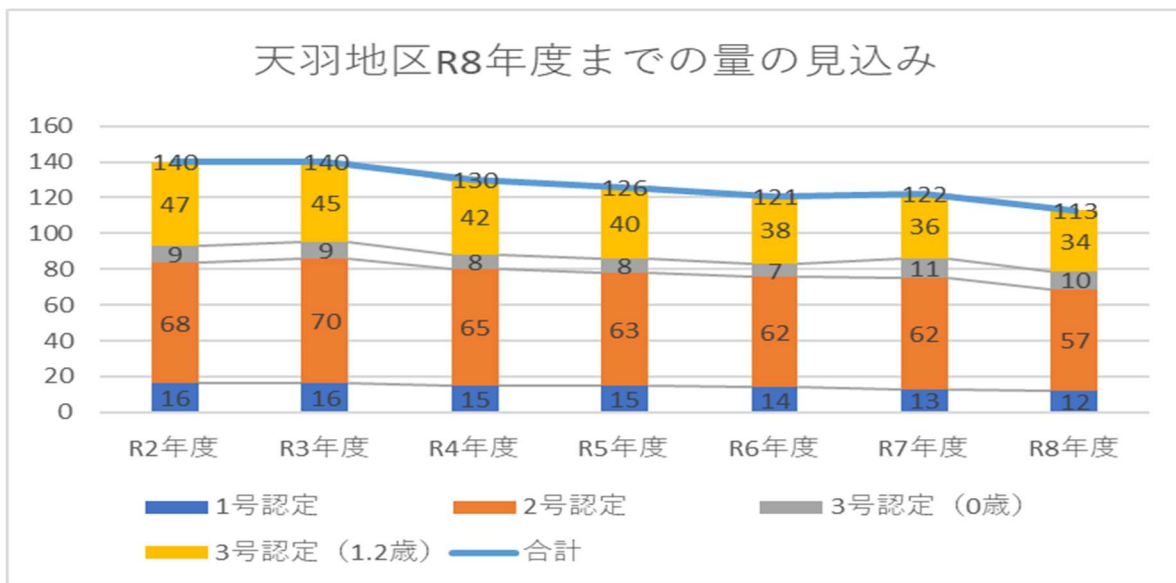
(グラフ-7) 富津地区令和8年度までの量の見込み



(グラフ-8) 大佐和地区令和 8 年度までの量の見込み



(グラフ-9) 天羽地区令和 8 年度までの量の見込み



(3) 令和 22 年度 年齢別地区別保育施設の利用見込み

令和 22 年の人口推計を令和 2 年 4 月時点の年齢別人口の構成割合に当てはめ試算し、幼稚園を含めた施設の定員と比較しました。

各地区とも 0 歳から 2 歳までの人口に対して定員が同水準か、下回っており、近年の保育施設利用開始の低年齢化がこのまま続いた場合、年齢別定員の見直しが必要です。



3歳以上児ではどの地区も、人口推計（試算）を定員が上回っています。これは当該年齢の児童がすべていずれかの保育施設を利用したとしても、十分施設に余裕が出る見込みであり、過剰となっています。

(表-4) 令和22年度の保育施設利用見込み【参考】

年齢	地区	施設名	R2年度の定員	定員地区小計	年齢区分別人口推計	人口・定員比較
0歳	富津地区	<b>飯野保育所</b>	6	33	81	-48
		富津保育園	15			
		青堀保育園	12			
		明澄幼稚園	0			
	大佐和地区	<b>吉野保育所</b>	4	21	17	4
		<b>佐貫保育所</b>	3			
		大貫保育園	6			
		和光保育園	8			
		大佐和幼稚園	0			
	天羽地区	<b>中央保育所</b>	8	19	23	-4
		<b>竹岡保育所</b>	3			
		<b>金谷保育所</b>	3			
		<b>峰上保育所</b>	5			
		みなと幼稚園	0			
1歳	富津地区	<b>飯野保育所</b>	12	45	95	-50
		富津保育園	15			
		青堀保育園	18			
		明澄幼稚園	0			
	大佐和地区	<b>吉野保育所</b>	6	31	37	-6
		<b>佐貫保育所</b>	5			
		大貫保育園	10			
		和光保育園	10			
		大佐和幼稚園	0			

	天羽地区	中央保育所	8	27	21	-6
		竹岡保育所	5			
		金谷保育所	5			
		峰上保育所	6			
		みなと幼稚園	3			
2歳	富津地区	飯野保育所	20	70	114	-44
		富津保育園	30			
		青堀保育園	20			
		明澄幼稚園	0			
	大佐和地区	吉野保育所	6	34	29	5
		佐貫保育所	6			
		大貫保育園	10			
		和光保育園	12			
		大佐和幼稚園	0			
	天羽地区	中央保育所	14	42	25	17
		竹岡保育所	6			
		金谷保育所	6			
		峰上保育所	7			
		みなと幼稚園	9			
3歳	富津地区	飯野保育所	20	160	100	60
		富津保育園	30			
		青堀保育園	20			
		明澄幼稚園	90			
	大佐和地区	吉野保育所	10	50	36	14
		佐貫保育所	8			
		大貫保育園	12			
		和光保育園	20			
		大佐和幼稚園	0			
	天羽地区	中央保育所	16	76	25	51

		竹岡保育所	8			
		金谷保育所	8			
		峰上保育所	14			
		みなと幼稚園	30			
4歳	富津地区	飯野保育所	22	167	132	35
		富津保育園	30			
		青堀保育園	25			
		明澄幼稚園	90			
	大佐和地区	吉野保育所	12	92	36	56
		佐貫保育所	9			
		大貫保育園	11			
		和光保育園	20			
		大佐和幼稚園	40			
	天羽地区	中央保育所	16	83	36	47
		竹岡保育所	9			
		金谷保育所	9			
		峰上保育所	14			
		みなと幼稚園	35			
5歳	富津地区	飯野保育所	22	167	125	42
		富津保育園	30			
		青堀保育園	25			
		明澄幼稚園	90			
	大佐和地区	吉野保育所	12	92	45	47
		佐貫保育所	9			
		大貫保育園	11			
		和光保育園	20			
		大佐和幼稚園	40			
	天羽地区	中央保育所	18	85	33	52
		竹岡保育所	9			

		金谷保育所	9			
		峰上保育所	14			
		みなと幼稚園	35			

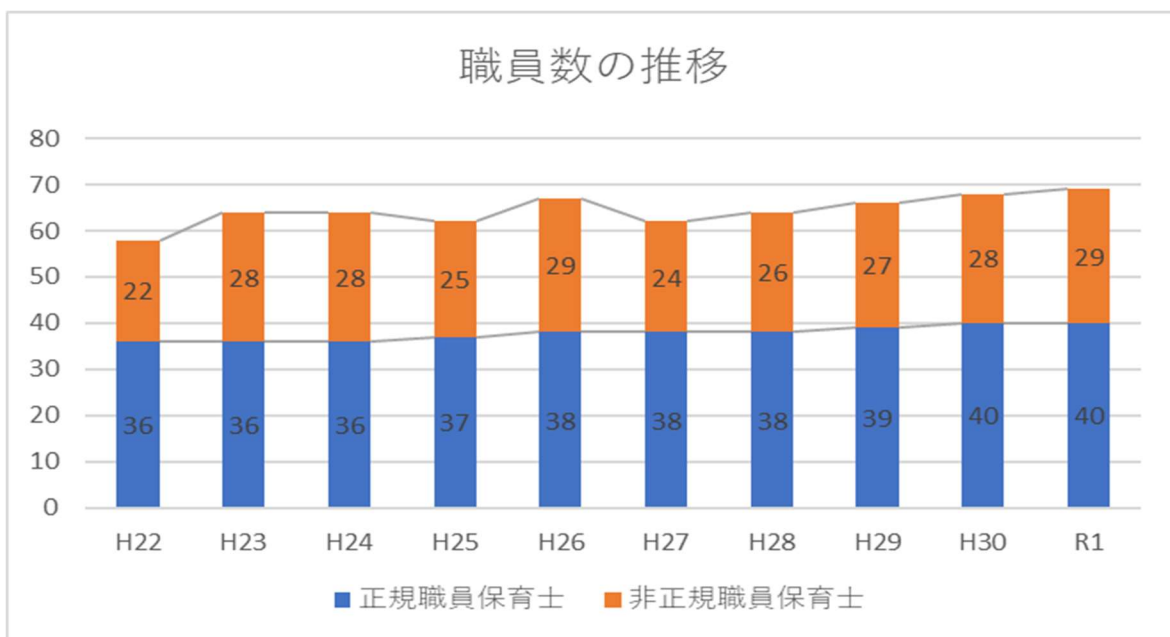
### 3 課題

#### (1) 保育士の確保

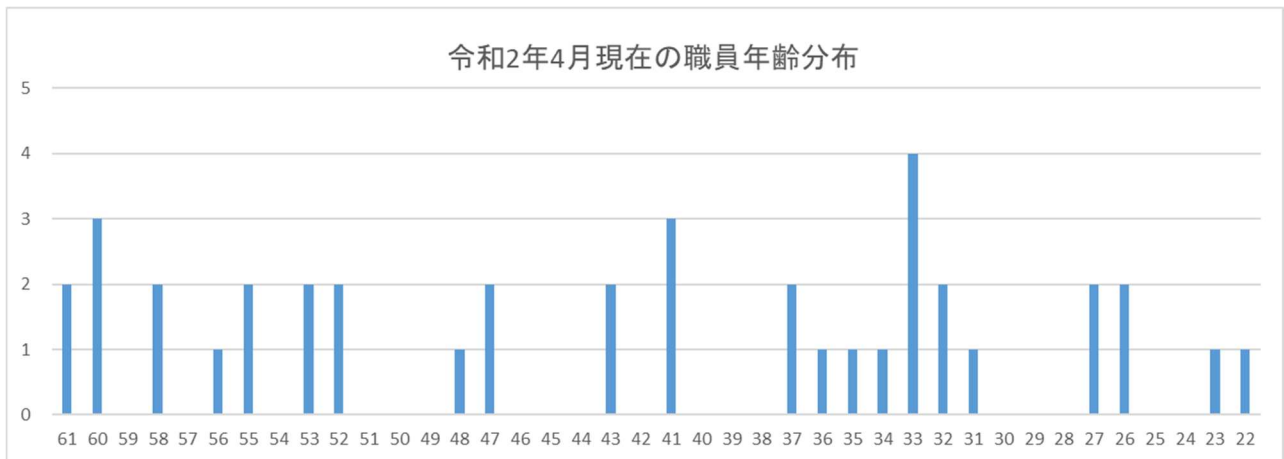
近年、養成校を卒業しても保育士として就職しない者の増加や経験の浅い保育士の離職率が高くなっていることから、多様化する保育ニーズに対応する保育士が不足しており、その確保が公私立共に困難となっております。

当市では過去に新規保育士を採用しない年度もあり、保育士の年齢分布が平準化していません。また、退職者数に見合った採用を行わなかった年度もあることから、指導、技術の継承に支障が出るおそれがあります。

(グラフ-10) 職員数の推移



(グラフ-11) 令和2年度現在の職員年齢分布



## (2) 保育のニーズの多様化と育児力の低下

保護者の雇用・勤務形態の変化や女性の就労機会の増大、働き方改革、子育てに対する意識の変化等により保護者の保育に対するニーズも多様化しています。

また、全国的な傾向として、近年の核家族化の進行や地域社会における人間関係の希薄化により、家庭や地域が持っている「子育て力」が低下してきており、子どもにふさわしい生活時間や生活リズムが作れないなど、子どもの生活が変化する一方で、身近に相談相手がいらないことなどから孤立し、子育てに関する悩みや不安、ストレスを抱えている家庭が多くなっています。

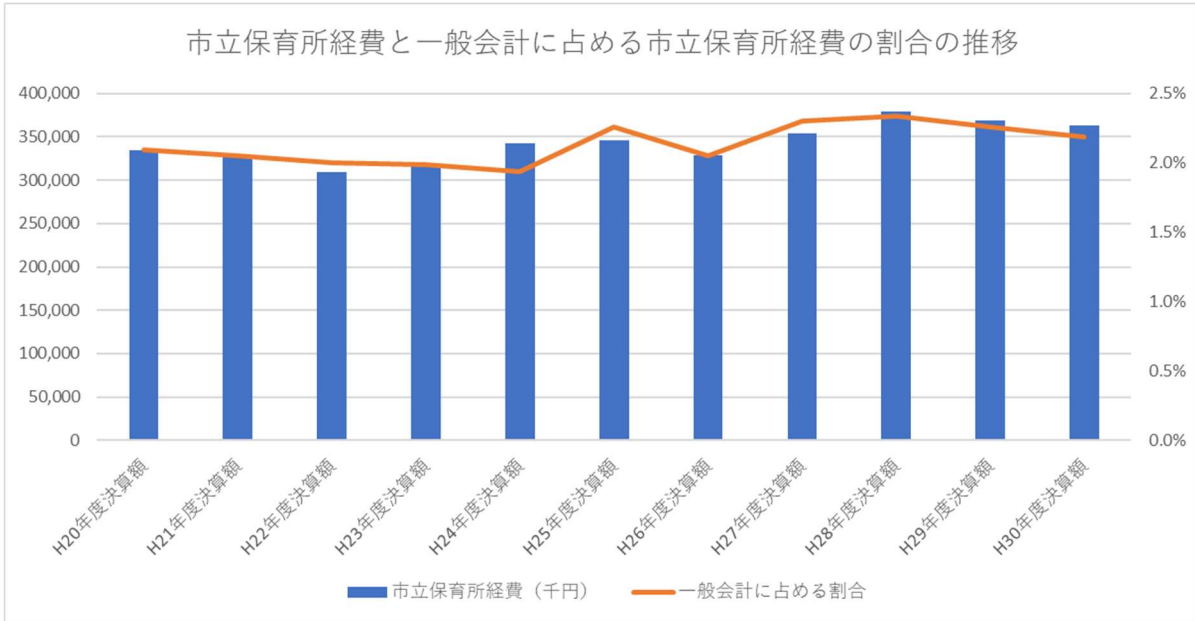
そのため、保育所は保育に欠ける子どもの保育とその保護者の支援に加え、これからは保育所を利用していない子どもを含めたすべての子どもと子育て家庭の支援ということで、地域における総合的な子育て支援の中核としての役割が求められています。

## (3) 運営費の状況

保育所の運営には、保育に係る人件費、教材等の消耗品費や給食材料費等のほか、光熱水費等施設の維持管理費などの経費が必要です。民間保育園の経費は国県も負担していますが、市立保育所は、平成16年度からの三位一体の改革により地方交付税措置（一般財源化）されました。

また、令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」の実施に伴い、0才～2才の非課税世帯及び3才～5才の保育料について保護者負担が無償化され、公費で賄うことになりました。

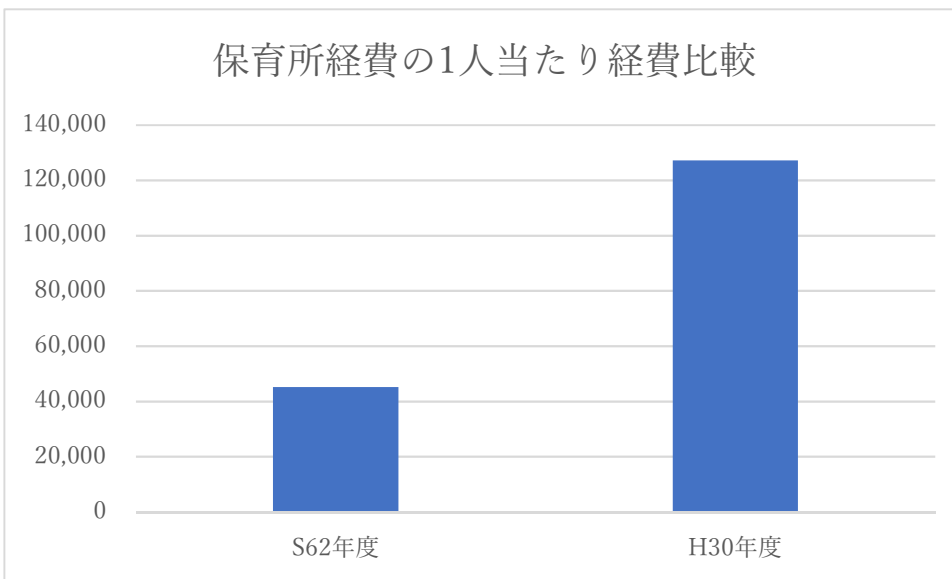
(グラフ-12) 保育所経費の割合と推移



(表-5) 児童1人当たりの経費比較

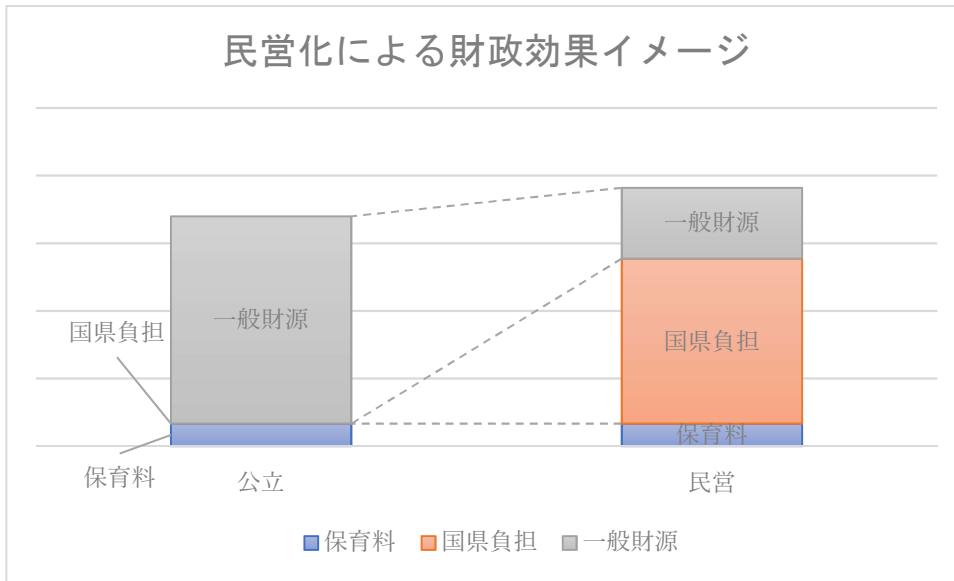
	保育所費総額 (円)	年間児童数 (人)	1人当たり経費 (円)
S62年度決算	384,384,463	8,499	45,227
H30年度決算	362,914,370	2,842	127,241

(グラフ-13) 児童1人当たりの経費比較





(グラフ-14) 民営化による財政効果のイメージ



※令和2年度の公立保育所全体の児童数及び歳出予算、公定価格、保育料に基づき子育て支援課が算出

【参考】

(表-6) 近隣市・類似団体の公立子育て支援施設

団体名	種別	施設数	延べ床面積 (㎡)	入所児童数	入所児童1人当たり面積
君津市	保育園	10	8,196	710	11.5
	認定こども園	1	1,329	121	11.0
	幼稚園	0	0	0	0
館山市	保育園	3	1,702	228	7.4
	認定こども園	3	2,077	210	9.8
	幼稚園	6	3,684	216	17.0
鴨川市	保育園	0	0	0	0
	認定こども園	6	7,072.87	417	16.9
	幼稚園	0	0	0	0
いすみ市	保育所	9	7,602	584	13.0
	認定こども園	1	2,112	150	14.0
	幼稚園	0	0	0	0
富津市	保育所	7	4,528	198	22.8

	認定こども園	0	0	0	0
	幼稚園	0	0	0	0

入所児童数は令和2年4月1日現在

※表・グラフは出展が記載されていないものは、子育て支援課において試算・作成したものです。